



5年 組 名前( )

保護者サイン

教科		学習内容	チェック
国語①	今回の学習	『百年後のふるさとを守る』	
	今回の宿題	音読、日記、ドリルの王様 ③1 p.59-60	
	次回の学習	『古典の世界』、『分かりやすく伝える』	
国語②	今回の学習	志、師、証、余、義、政	
	今回の宿題	漢字ノートに漢字テストの書きの答えを3回以上書く、漢字の学習の残り	
	次回の学習	採、貧、検、益、破、条	
算数	今回の学習	正多角形と円周の長さ(p.79-82)	
	今回の宿題	ドリルp.33	
	次回の学習	正多角形と円周の長さ(p.83-88)	
理科	今回の学習	水溶液の重さ(教科書p.130-135)	
	今回の宿題	ドリルの王様 p.44	
	次回の学習	冬休みの宿題から小テスト、水にとけるものの量(教科書P.136-140)	
社会	今回の学習	単元テスト、情報化した社会とわたしたちの生活(p.66-71)	
	今回の宿題	ドリルの王様 ③5 p.71-72	
	次回の学習	情報化した社会とわたしたちの生活(p.76-85)	
行事など	1月23日 新4年PV校しゃ説明会 1月30日 漢字検定		

音読表	◎最高 ○いいね △もう少し ×がんばって	日	月	火	水	木	金	読んだ本の題名(何さつでも)	
	気持ちをこめて読めた								
	大きな声で読めた								
	ゆっくり、はっきり読めた								
	聞いてくれた人のサイン (おうちの人、友達)								

その他	新年あけましておめでとうございます 2016年(さる年)がスタートしました。元日には、今年のほう負を語り合ったご家族も多かったのではないのでしょうか。日本でも、ここカリフォルニアでも、初日の出に象ちようされるような、おだやかでかがやかしい一年でありますように願わずにはいられません。 3月までは、一年間のまとめとなる大切な期間です。五年生の子どもたちにとって、4月からががんばってきたことが、かがやかしいものになるよう、指導に努めて参ります。 本年もよろしくお願いたします。	保護者より

今週の読み物

福沢諭吉 ペンは剣よりも強し

皆さんは平田札の人を知っていますか？

「天は人の上に人をつくらず、人の下  
に人をつくらず。」

明治のはじめ、「学問のすすめ」で、い  
ちはやく人間の自由・平等・権利  
のとうとさをとき、あたらしい時代におか  
うにほんじん、道しるべをあたえた人です。

それまで熱心にまなんだオランダ語をすて、  
せかいに通用する英語を、独学でま  
なんだ人。アメリカやヨーロッパに三度もわ  
たり、自分の目で実際に確かめました。

外国のすすんだ文化や思想をしょうか  
いし、日本に大きなきえいきようをあたえた  
人。上野のせんそうのとき、砲声をき

きながら、へいぜんと講義をつづけた人。

福沢諭吉は、ながい封建制度にな  
らされた人々を目ざめさせるのは学問  
しかない、けわしい教育者の道を  
えらびました。

いま、慶応義塾大学の図書館  
には、  
「ペンは剣よりも強し。」  
のことばが、ラテン語で書かれています。

諭吉の一生は、この理想でつらぬか  
れました。

日本の民主主義を考えるとき、  
わたしたちはいつも、諭吉にたちかえらなけ  
ればなりません。

読み

書き

読み

書き

①	読	志す	⑪	書	せいふくをきる
②	読	強い意志を持つ	⑫	書	せいげんする
③	読	志をつらぬく	⑬	書	さんせいう
④	読	教師になる	⑭	書	たんさんをのむ
⑤	読	証明する	⑮	書	さいせんばこ
⑥	読	余分にもらう	⑯	書	せんとうにいぐ
⑦	読	プリントの余白	⑰	書	ぼうりよく
⑧	読	パンが余る	⑱	書	うまがあばれる
⑨	読	正義	⑲	書	よいせいせき
⑩	読	政治家になる	⑳	書	てっこうせき

西大和学園補習校五年  
漢字テストはんい

28

1月9日  
配布  
1月16日  
テスト

- |   |         |                 |
|---|---------|-----------------|
| ① | 志す      | 読<br>こころざす      |
| ② | 強い意志を持つ | 読<br>つよいいしをもつ   |
| ③ | 志をつらぬく  | 読<br>こころざしをつらぬく |
| ④ | 教師になる   | 読<br>きょうしになる    |
| ⑤ | 証明する    | 読<br>しょうめいする    |
| ⑥ | 余分にもらう  | 読<br>よぶんにもらう    |
| ⑦ | プリントの余白 | 読<br>プリントのよはく   |
| ⑧ | パンが余る   | 読<br>ぱんがあまる     |
| ⑨ | 正義      | 読<br>せいぎ        |
| ⑩ | 政治家になる  | 読<br>せいじかになる    |

西大和学園補習校五年  
漢字テスト

名前

- |   |         |            |
|---|---------|------------|
| ⑪ | せいふくをきる | 書<br>制服を着る |
| ⑫ | せいげんする  | 書<br>制限する  |
| ⑬ | さんせいう   | 書<br>酸性雨   |
| ⑭ | たんさんをのむ | 書<br>炭酸を飲む |
| ⑮ | さいせんばこ  | 書<br>さい銭箱  |
| ⑯ | せんとうにいく | 書<br>銭湯に行く |
| ⑰ | ぼうりよく   | 書<br>暴力    |
| ⑱ | うまがあばれる | 書<br>馬が暴れる |
| ⑲ | よいせいせき  | 書<br>よい成績  |
| ⑳ | てつこうせき  | 書<br>鉄鉱石   |



1 算数ジャマイカ(+ - × ÷を使って導こう)

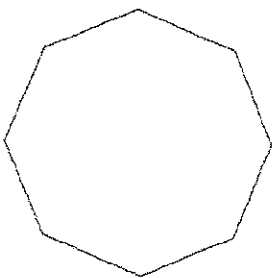
①      =

②      =

2 次の語句の読み方を書きましょう。(教科書79~82ページ)

- ① 正八角形
- ② 正多角形
- ③ 半径
- ④ 頂点


3 <sup>たかくけい</sup>多角形<sup>せいしつ</sup>の性質<sup>しら</sup>を調べましょう。



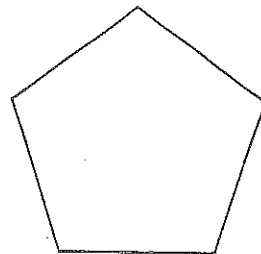
はちかくけい  
八角形



--

・辺の長さが( )

・角の大きさが( )

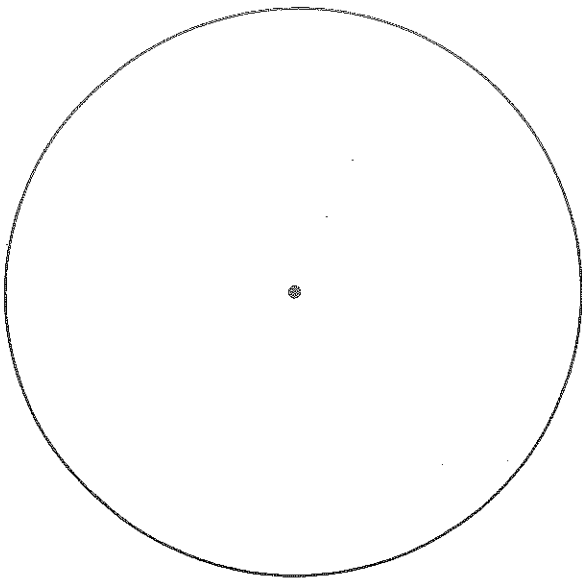


ごかくけい  
五角形

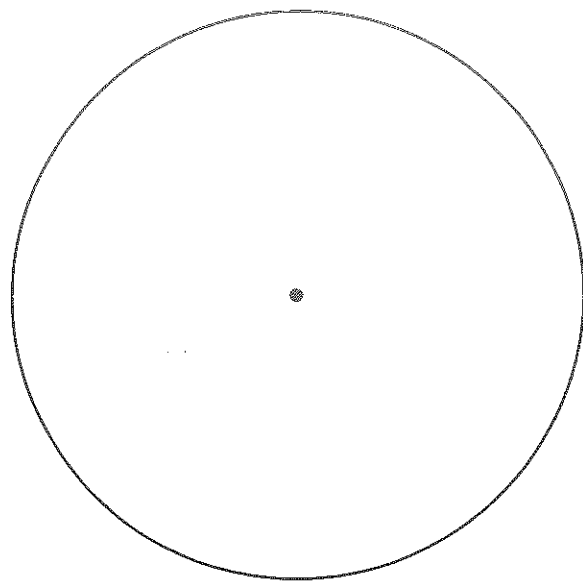


--

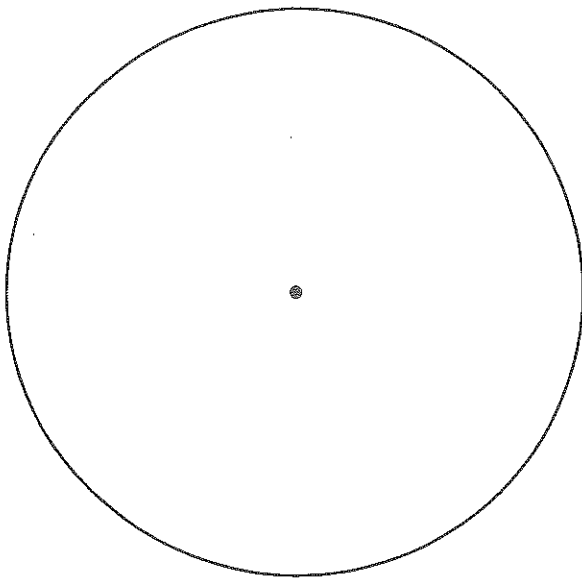
4 正多角形をかきましょう。



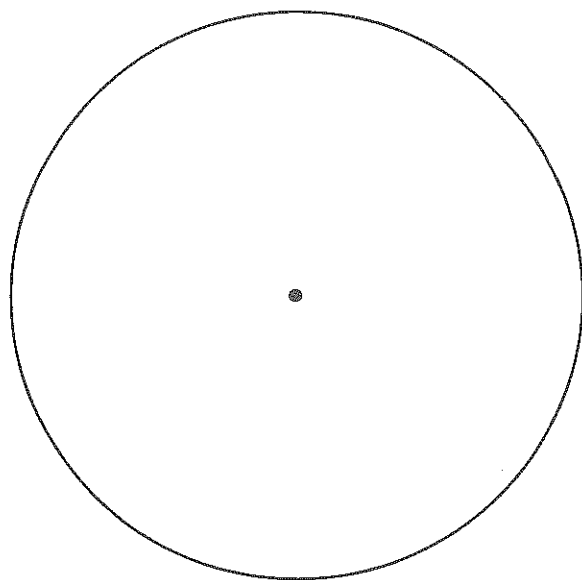
正八角形



正五角形



正六角形



正四角形

5 まとめ

- ・辺の長さがすべて等しく、角の大きさもすべて等しい多角形を、( )という。
- ・正多角形をかくには、円の中心のまわりの角を等分して半径をかき、円と交わった点を( )にする。





わたしたちのくらしと工業生産  
工業生産と工業地域 ②

50点

★ 次の地図の工業地帯と工業地域を [ ] から選び、 [ ] に書きなさい。 20点(1つ2)



- けいひん 京浜工業地帯
- はんしん 阪神工業地帯
- ちゆうきゆう 中京工業地帯
- きたきゆうしゆう 北九州工業地帯
- けいよう 京葉工業地域
- かんとうないりく 関東内陸工業地域
- ほくりく 北陸工業地域
- とうかい 東海工業地域
- せとうち 瀬戸内工業地域
- たいへいよう 太平洋ベルト

I 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

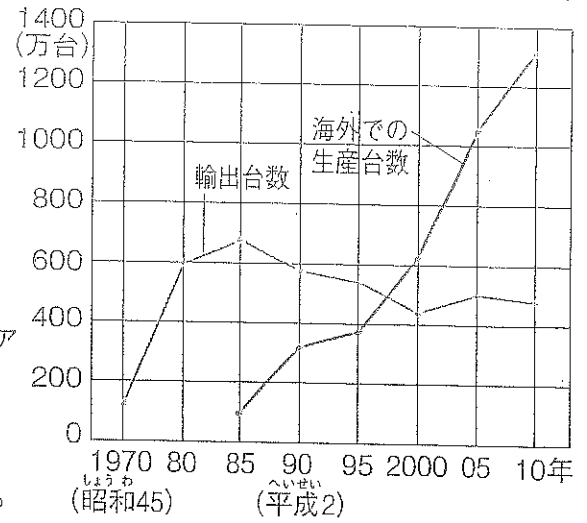
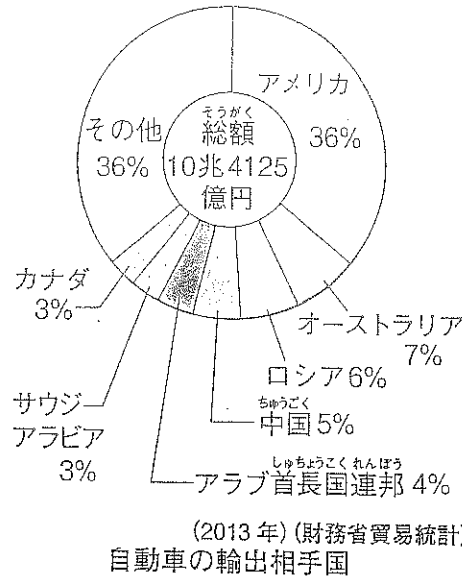
30点(1つ3)

(1) 日本の自動車が最も多く輸出されている国はどこですか。

( )

(2) 2010年には、日本の自動車の輸出台数と海外での生産台数ではどちらが多いですか。

( )



(3) 次の文の( )にあてはまる語句を下から選び、書きなさい。

1980年代に、日本の自動車の輸出が急に増えたため、(① )などでは、自動車の生産にたずさわる人が(② )するという問題がおきた。そのこともあって、日本の自動車会社は、海外に(③ )をつくり、生産も(④ )も現地で行う(⑤ )という方法をとるようになった。はじめのうちは、日本から車の(⑥ )を輸出し、現地で組み立てるという方法をとっていたが、いまでは、部品の生産だけでなく、自動車の(⑦ )なども現地で行うようになり、(⑧ )もほとんどがその国の人という状況になった。

〔 販売 働く人 設計 部品 失業 自動車工場 アメリカ 現地生産 〕

①語句チェック(教科書下66～71ページ)

1	秒単位	
2	時間帯	
3	編成	
4	報道	
5	冷静	
6	中立	
7	客観的	
8	選び方	
9	送り手	
10	受け手	

②まとめ

・放送局では、テレビ番組を、しちよう者が見る( )に合わせ編成している。  
 ・情報化が進むにつれて、情報を( )側と( )側の正しい判断がいつそう求められている。

③今日の授業で学んだことや、感じたこと、考えたことを書きましょう。

<hr/> <hr/>
-------------



食塩を水の中に入れてみよう。食塩はどうなるだろうか。気がついたことを書こう。

## 2. 水に溶けた食塩はどうなったのだろう？

食塩は水に溶けると見えなくなった。食塩はなくなってしまったのだろうか。

(1) 溶けた物はどうなったのか、イメージ図をかいてみよう。

また、なぜそのように考えたのか、言葉で書こう。

(2) ものがとけるとはどういうことだろう？ (教科書 p.131)

・ものが (① ) なる。

・とけたあとの液は (② ) である。

水にものがとけたとうめいな液のことを (③ ) という。

とけているものが食塩ならば、食塩の (④ )、または (⑤ ) という。

とけているものがさとうならば、さとうの (⑥ )、または (⑦ ) という。

(⑧ ) には、(⑨ ) のついたものもあれば、ついていないものもあるが、すべて (⑩ ) である。

3. 水に溶けたものがどうなったか、調べるには、どのような方法が考えられるだろう。

実験方法を考えて、調べてみたいことを書こう。

4. 実験1 溶かす前と溶かしたあとの、全体の重さをくらべよう。(教科書 p.132)

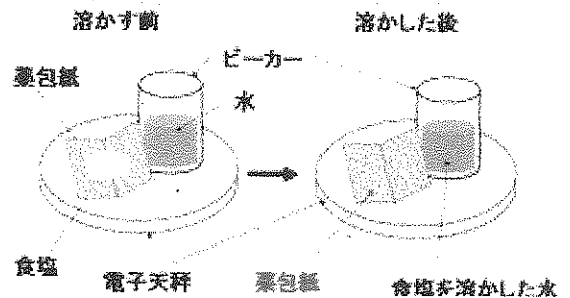
- ① 溶かす前の全体の重さをはかる。
- ② 水が入った容器に食塩をこぼさないように入れ、ふたをしてよくふり、すべて溶かす。
- ③ 溶かしたあとの全体の重さをはかり①の重さとくらべる。

☆<sup>うわざら</sup>上皿てんびん・電子てんびんの使い方を覚えよう。(教科書 p.133)

<結果>

・溶かす前の全体の重さ..... ( ) g

・溶かしたあとの全体の重さ..... ( ) g



わかったこと (教科書 p.134)

溶かす前の水とものを合わせた重さと、溶かしたあとの水溶液の重さは ( ) 。

水溶液の重さは、水の重さと溶かしたものの重さの和になる。

$$\boxed{\text{水の重さ}} + \boxed{\text{溶かしたものの重さ}} = \boxed{\text{水溶液の重さ}}$$

5. 水にものが溶けたときのようすを図や絵にかいて、自分の考えを説明しよう。(教科書 p.134)

## 「水よう液の重さ」 だいじなまとめ

## 1. 水よう液

- ① ものがとけている水を、( ) という。
- ② 水よう液は色が付いていても、すべて、( ) である。
- ③ ものが水にとけて見えなくなっても、ものは水の中に ( ) いる。

## 2. ものが水にとけるときのようす

- ① 水にいれたつぶは、しだいに小さくなり、形が ( ) なる。
- ② とけたものは水全体に広がっていき、時間がたっても水と分かれて出てくることは ( ) 。
- ③ かきまぜたときは、かきまぜないときに比べると、とけるのが ( ) い。
- ④ ものがとけた液は、すきとおって ( ) 。

## 3. 水にとけないものを水に入れたときのようす

- ① 水にいれたつぶは、小さく ( ) 。
- ② ものがとけないときの液は、にごっている。 ⇒ しばらくすると、底につぶが ( ) 。

## 4. 水よう液の重さ

- ① ものは水にとけて見えなくなっても、なくなって ( ) 。
- ② ものは、水にとかず前と後とで、重さは ( ) 。
- ③ 水よう液の重さは、水の重さと、とかしたものの重さとの ( ) になる。

水よう液の重さ = _____ + _____
-------------------------

## 5. 実験器具の使い方を覚えよう。

- ① 上皿てんびんを使うときに注意することを書こう。
- ② 電子てんびんを使うときに注意することを書こう。